

チャイナ・イノベーション・オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2022年4月21日～2022年10月20日

第 8 期 決算日：2022年10月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、中国の株式等を実質的な主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第 8 期末 (2022年10月20日)

基準価額	12,495円
純資産総額	448百万円
騰落率	-10.4%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

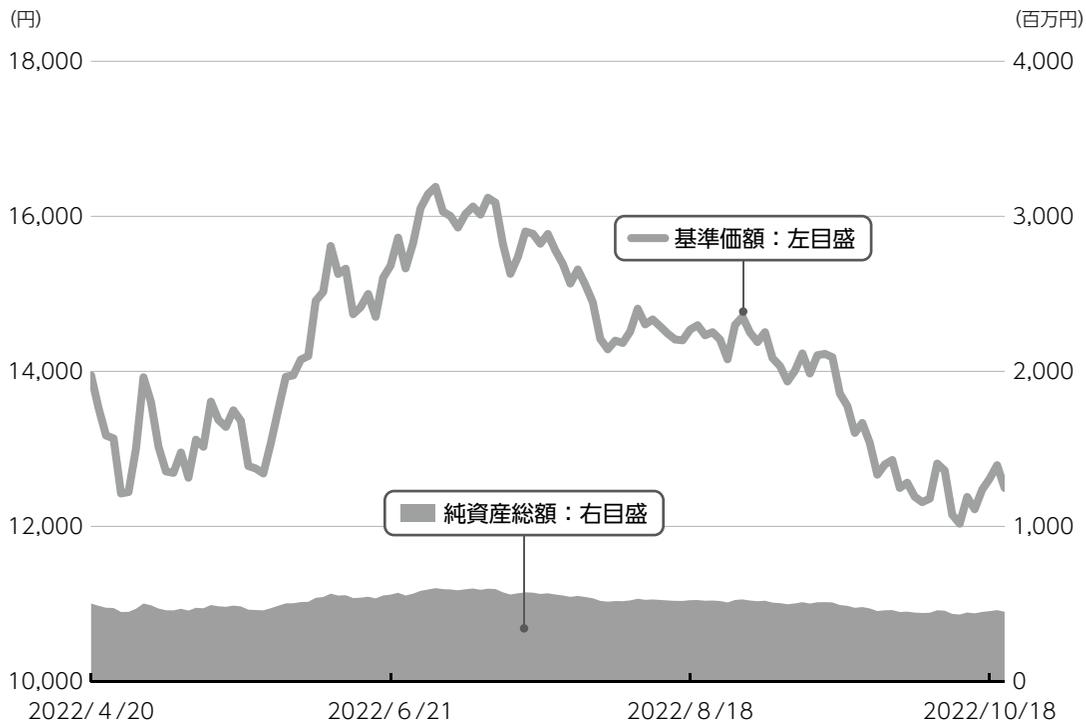
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第8期：2022年4月21日～2022年10月20日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	13,947円
第8期末	12,495円
既払分配金	0円
騰落率	-10.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.4%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄である、データセンターの運営を手掛けるGDS HOLDINGS LTD - ADRや、インターネット企業のTENCENT HOLDINGS LTDなどの株価が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

2022年4月21日～2022年10月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	121	0.855	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(59)	(0.414)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	1	0.004	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.004)	
(d) その他費用	7	0.046	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.043)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	130	0.911	

期中の平均基準価額は、14,150円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

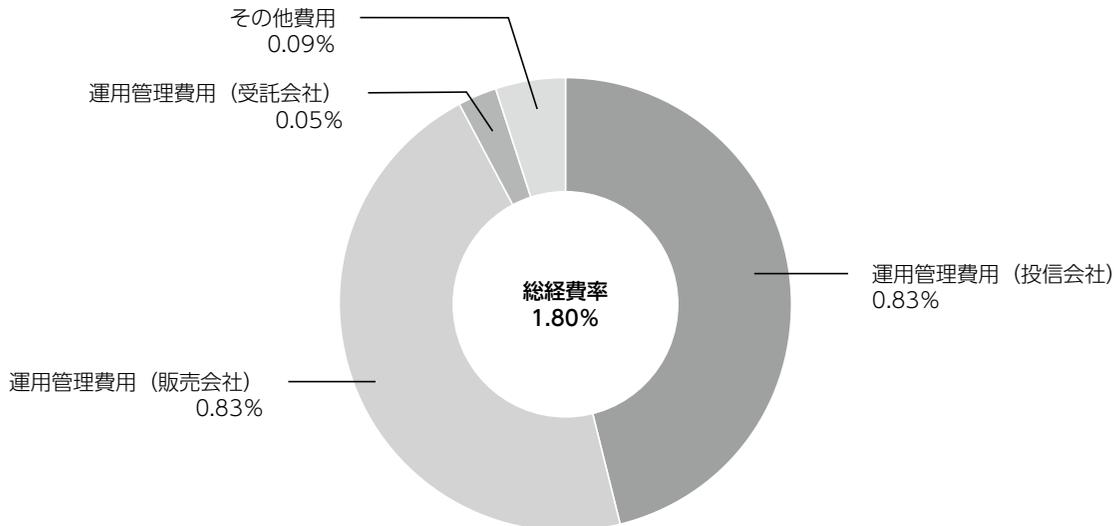
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年10月20日～2022年10月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

		—	2018/10/22	2019/10/21 決算日	2020/10/20 決算日	2021/10/20 決算日	2022/10/20 決算日
基準価額	(円)	—	9,487	10,983	17,270	18,277	12,495
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	—	0	0	0	0
基準価額騰落率	(%)	—	—	15.8	57.2	5.8	-31.6
純資産総額	(百万円)	—	284	353	651	840	448

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第8期：2022年4月21日～2022年10月20日

投資環境について

▶ 株式市況

香港及び中国本土株式市況は下落しました。

期首から2022年6月下旬にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融引き締め起因する米国の景気後退が警戒されたものの、中国国内で実施されている厳しい行動規制が緩和に向かうとの期待や中国当局による金融緩和策発表などを背景に上昇しました。7月上旬から期末にかけては、中国政府によるIT関連企業に対する規制強化懸念の再

燃に加えて、新型コロナウイルスの感染再拡大による行動規制強化が中国の景気減速懸念を根強いものにしてきていることなどを背景に下落しました。

▶ 為替市況

香港ドル及び中国人民元は円に対して上昇しました。

香港ドルは、連動する米ドルに連れて円に対して上昇し、中国人民元（オフショア）も円に対して上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

▶ チャイナ・イノベーション マザーファンド

中国の株式等を主要投資対象とし、次の時代を創る中国のイノベーション企業に投資し、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、工場自動化に必須となる産業用自動制御製品を生産する機械メーカーや、車載用電池の世界大手

企業などへの重点的な投資を継続しました。

ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね30銘柄程度で推移し、期末は27銘柄となりました。

企業業績や株価動向を踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、XINYI SOLAR HOLDINGS LTDを新規購入しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 8 期 2022年4月21日～2022年10月20日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	7,455

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ チャイナ・イノベーション・オープン

引き続き、チャイナ・イノベーション
マザーファンド受益証券を主要投資対象
として運用を行います。

これまでと同様、マザーファンドの組入
比率を高位に保つ方針です。

▶ チャイナ・イノベーション マザー ファンド

引き続き、中国の株式等を主要投資対象
とし、次の時代を創る中国のイノベー
ション企業に投資することで、主として
中長期的な値上がり益の獲得をめざして
運用を行います。

中国の景気減速や、米国の金融政策や景
気動向、地政学リスクなどが懸念されて
いますが、2022年10月に開催された共
産党大会を経て発足した新指導部による
政策に対する不透明感も加わり、香港株
式市況および中国本土株式市況は神経質
な値動きが続くと思われま。

実体経済については、全国人民代表大会
(全人代)で設定された2022年の経済成
長率目標の達成は実現が困難になってい
ます。一方で、ゼロコロナ対策の継続に
よる消費の回復の遅れが見込まれるもの
の、緩和的な金融政策や財政刺激策によ
り景気を下支えする姿勢が示されており、
企業業績は緩やかに改善していくと予想

しております。香港株式市況および中国
本土株式市況は、中長期的にはこうした
企業業績を反映した動きに戻っていくと
見込んでいます。

中国政府による中長期的な政策支援の恩
恵が期待できる半導体関連企業や脱炭素
の取り組みによる恩恵が期待できる中国
企業に注目しています。

株式組入比率については、概ね90%以上
の水準を維持する方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

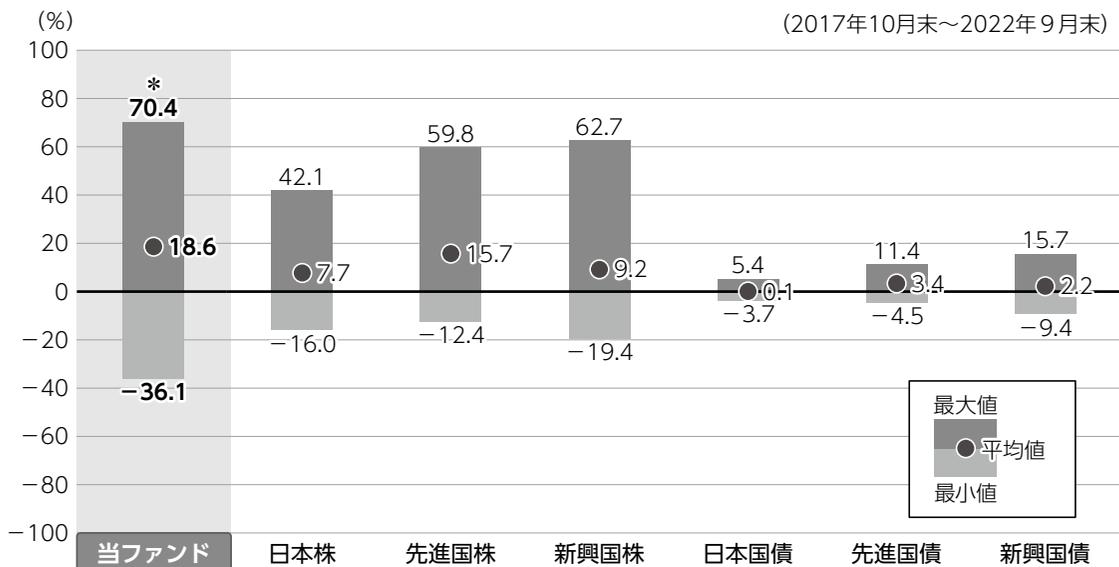
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2028年10月6日まで（2018年10月9日設定）
運用方針	<p>チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います（なお、不動産投資信託証券に投資を行う場合があります。）。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド チャイナ・イノベーション マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■チャイナ・イノベーション マザーファンド 中国の企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。</p>
運用方法	中国の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年10月から2022年9月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2019年10月～2022年9月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年10月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第8期末 2022年10月20日
チャイナ・イノベーション マザーファンド	98.9%

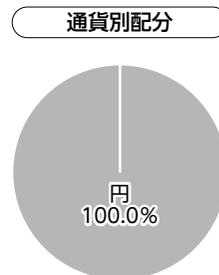
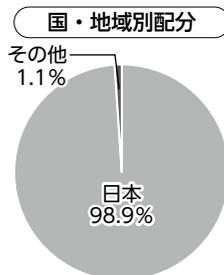
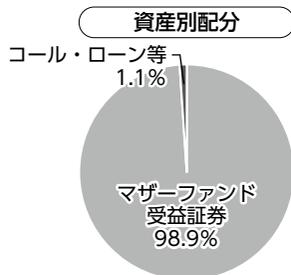
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第8期末 2022年10月20日
純資産総額 (円)	448,821,709
受益権口数 (口)	359,205,873
1 万口当たり基準価額 (円)	12,495

※当期中において追加設定元本は27,609,248円
同解約元本は 28,353,810円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

291603

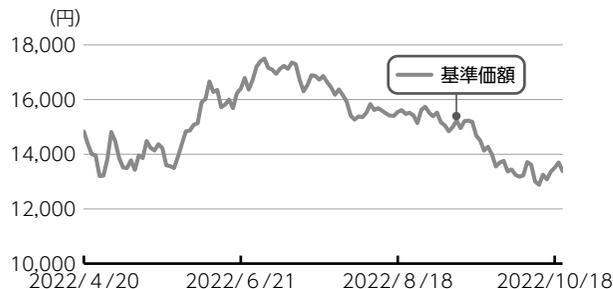
2022年10月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ チャイナ・イノベーション マザーファンド

基準価額の推移

2022年4月20日～2022年10月20日



1万口当たりの費用明細

2022年4月21日～2022年10月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	1 (1)	0.006 (0.006)
(b)有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.004 (0.004)
(c)その他費用 (保管費用)	7 (7)	0.045 (0.043)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	9	0.055

期中の平均基準価額は、15,114円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：27銘柄)

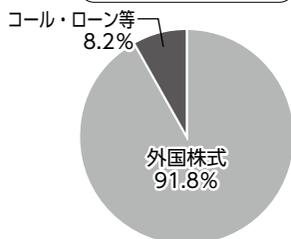
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	株式	中国	資本財	9.1
2	CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	株式	中国	資本財	8.2
3	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	メディア・娯楽	7.2
4	BEIJING EASPRING MATERIAL-A	株式	中国	資本財	6.6
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	株式	ケイマン諸島	小売	6.5
6	SG MICRO CORP-A	株式	中国	半導体・半導体製造装置	6.0
7	SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	株式	ケイマン諸島	耐久消費財・アパレル	5.8
8	MEITUAN-CLASS B	株式	ケイマン諸島	小売	5.0
9	AIER EYE HOSPITAL GROUP CO-A	株式	中国	ヘルスケア機器・サービス	4.8
10	WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	株式	ケイマン諸島	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.6

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

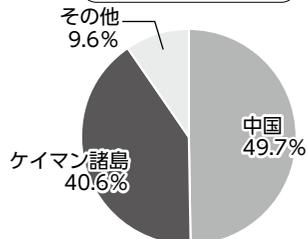
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

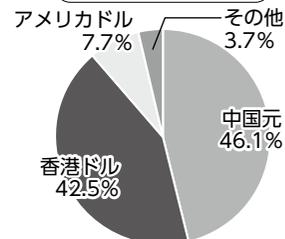
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信